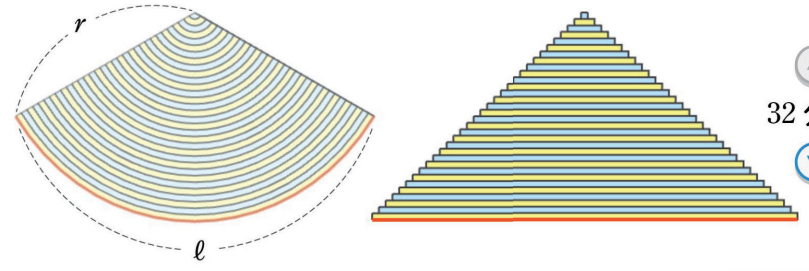


- 横に切る
- 縦に切る

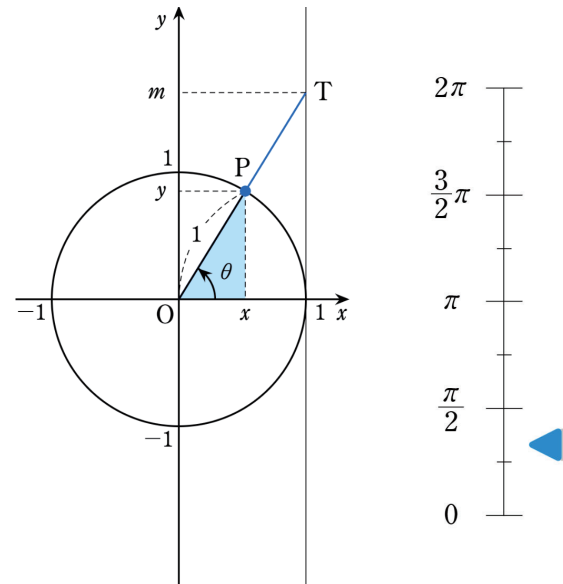
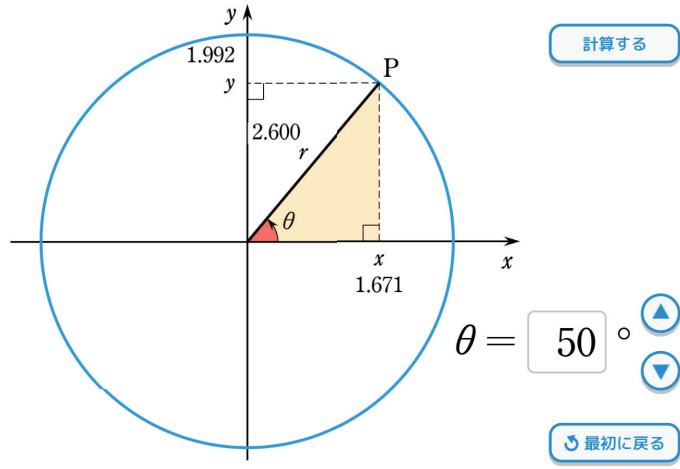


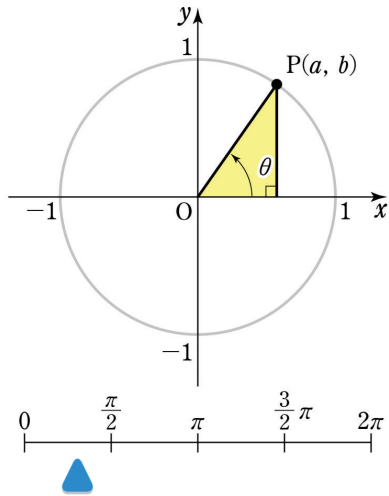
32 分割

一時停止

最初に戻る

$$\frac{y}{r} = \frac{1.992}{2.600} = \text{前回 } 0.7660 \quad \frac{x}{r} = \frac{1.671}{2.600} = \text{前回 } 0.6428 \quad \frac{y}{x} = \frac{1.992}{1.671} = \text{前回 } 1.1918$$



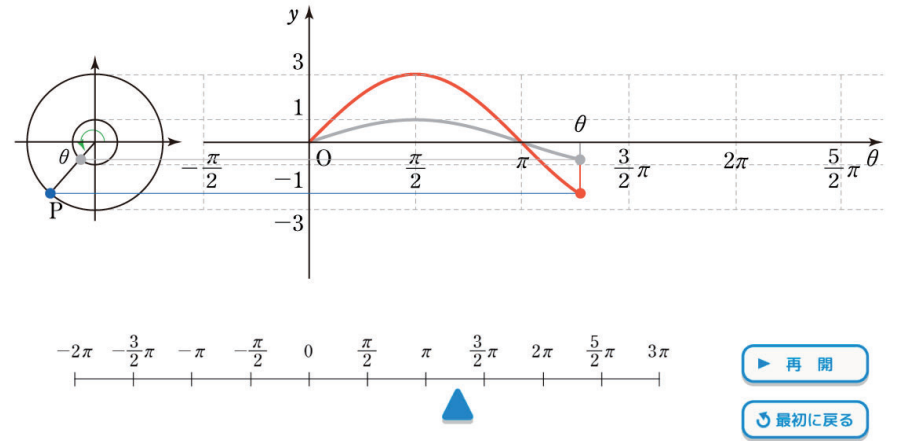
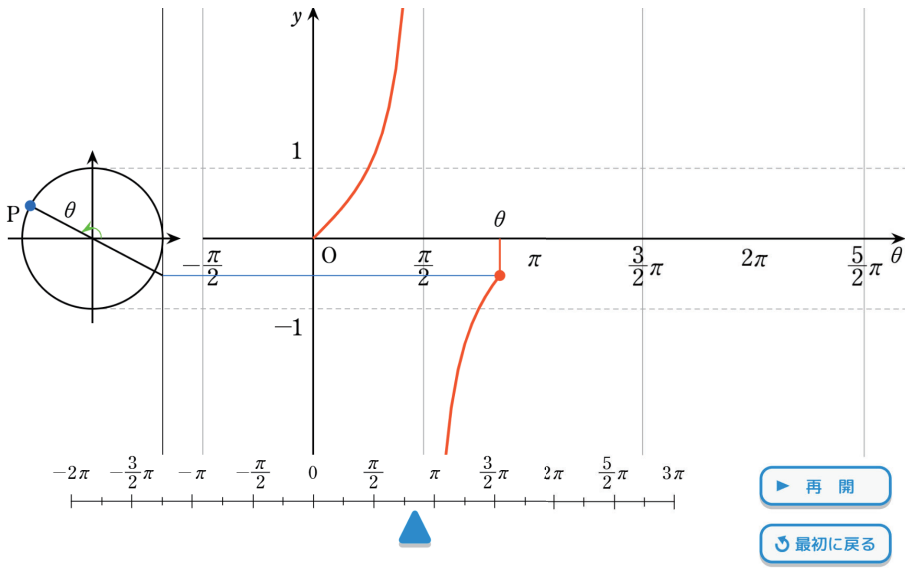
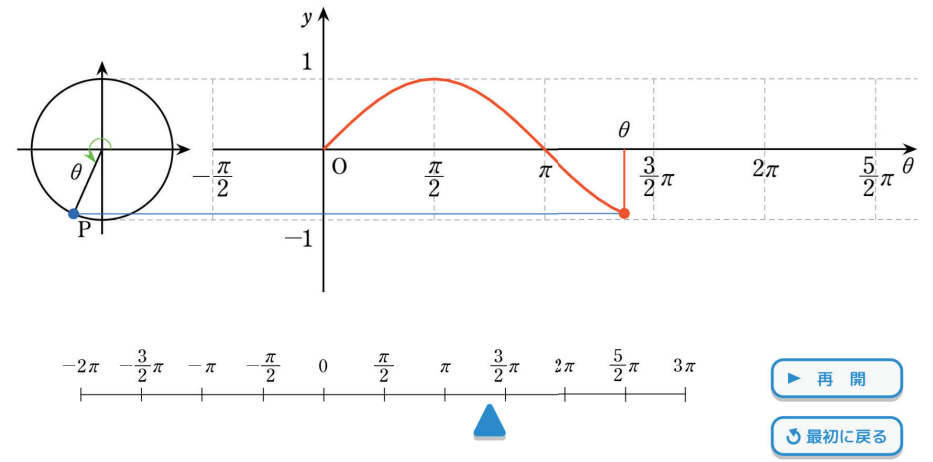


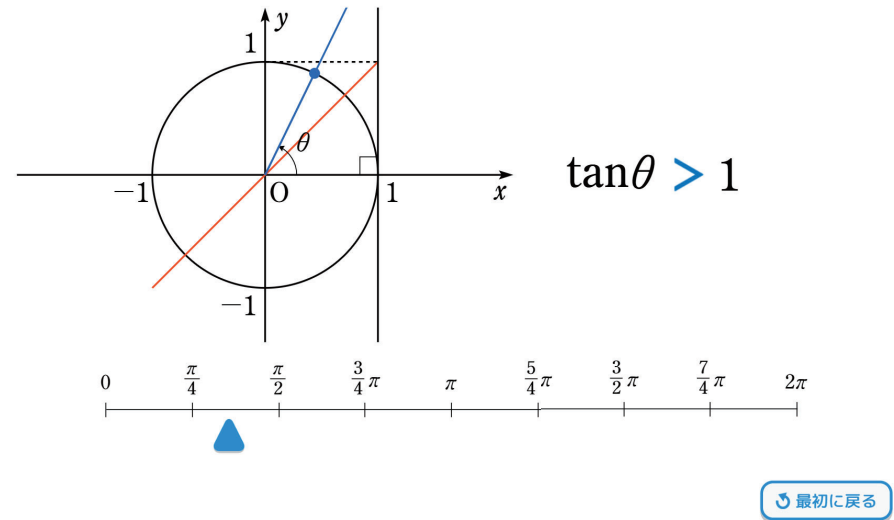
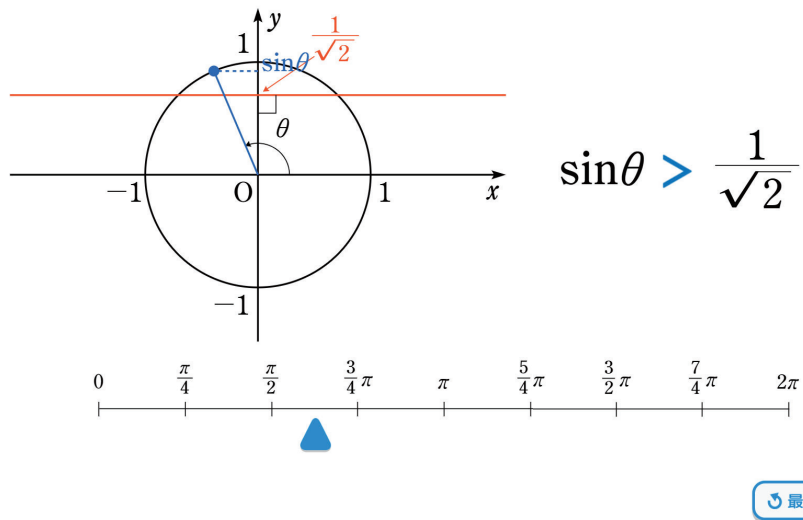
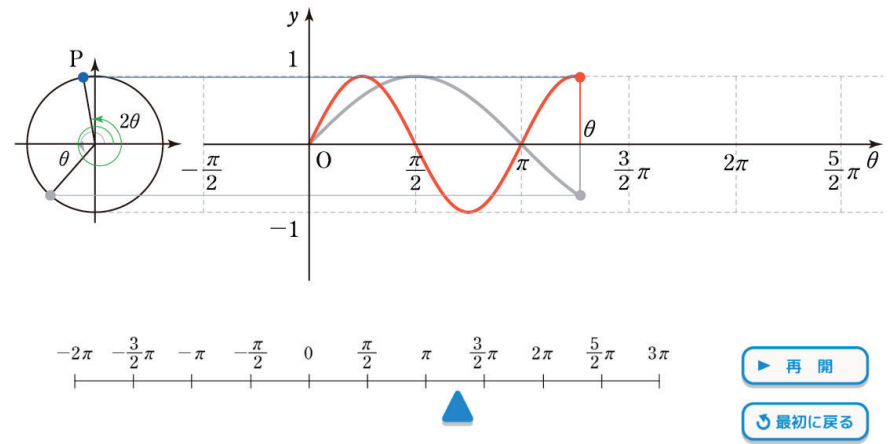
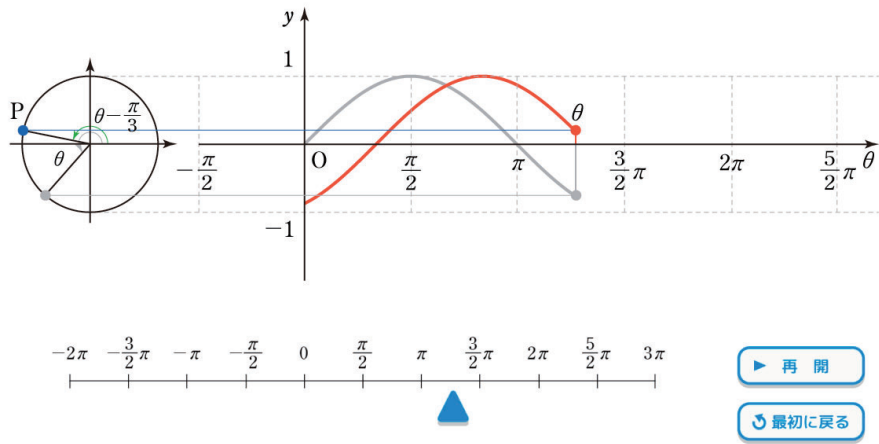
- $-\theta$
- $\theta + \pi$
- $\theta + \frac{\pi}{2}$
- $\pi - \theta$
- $\frac{\pi}{2} - \theta$

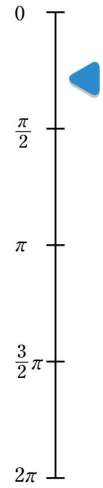
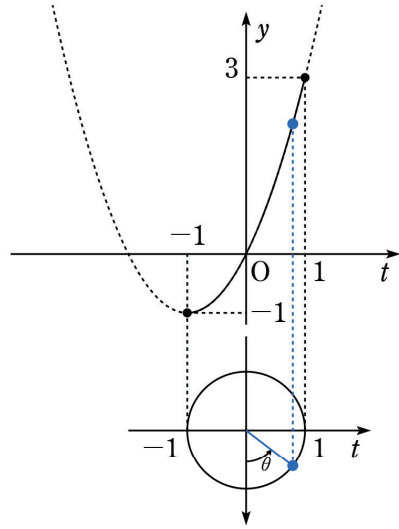
最初に戻る

$y = \sin \theta$      $y = \cos \theta$

切り替え時に  
グラフをリセット

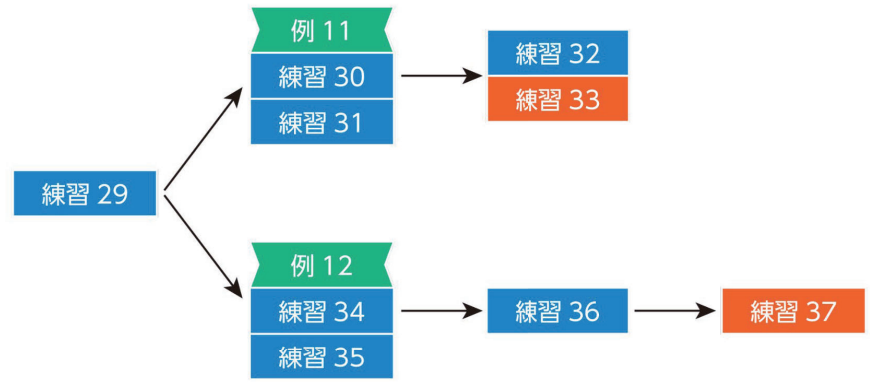




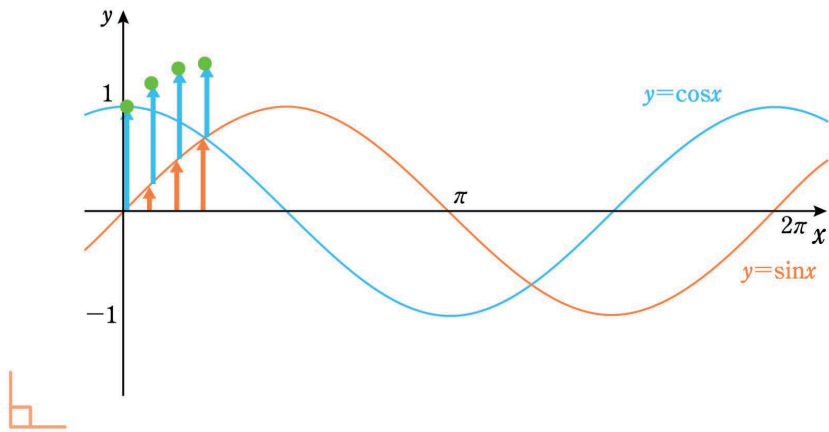


最初に戻る

第4章 三角関数 第2節 加法定理 6. 加法定理



y=sinx+cosxのグラフ



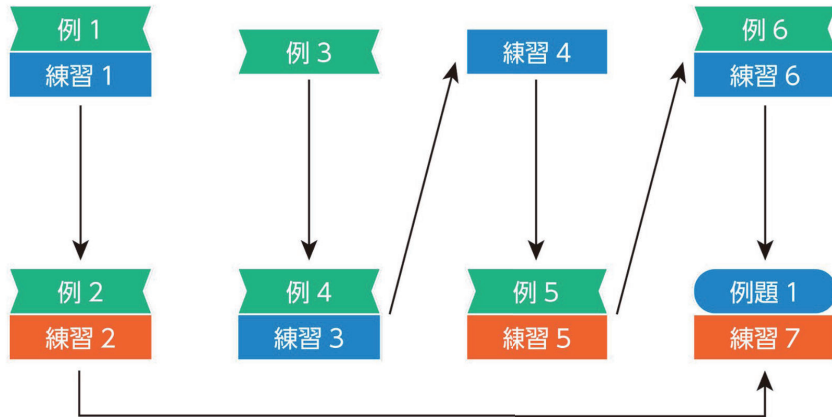
指数関数

$y = a^x$

対数関数

$y = \log_a x$

第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 1. 指数の拡張

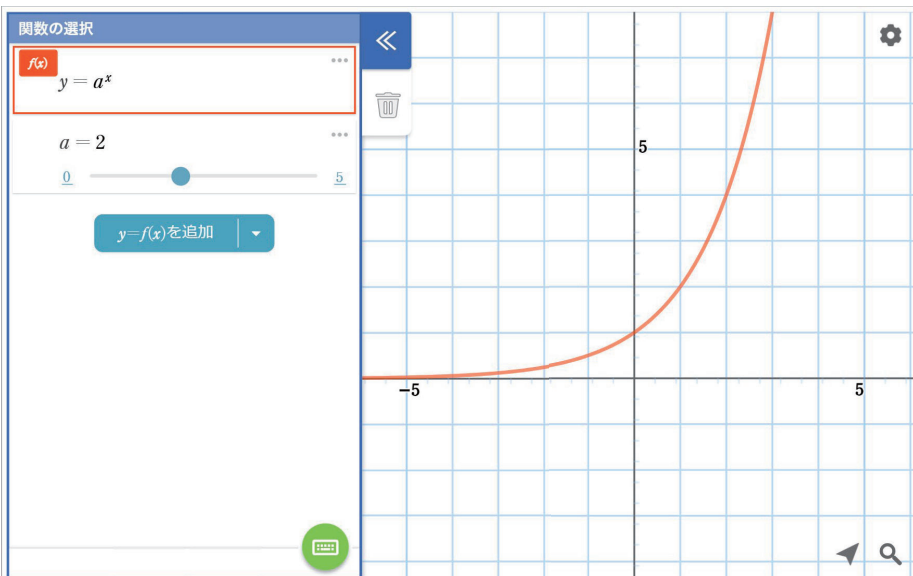


$n$	
1	3
1.4	4.6555367217...
1.41	4.7069650017...
1.414	4.7276950352...
1.4142	4.7287339301...

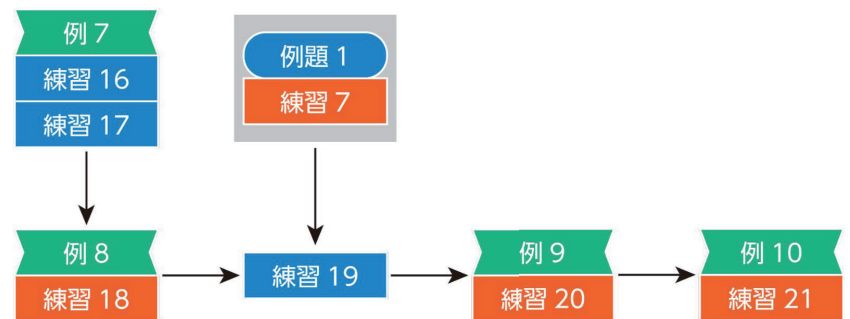
$n=1.41421$   
 $3^n=4.7287858809\dots$

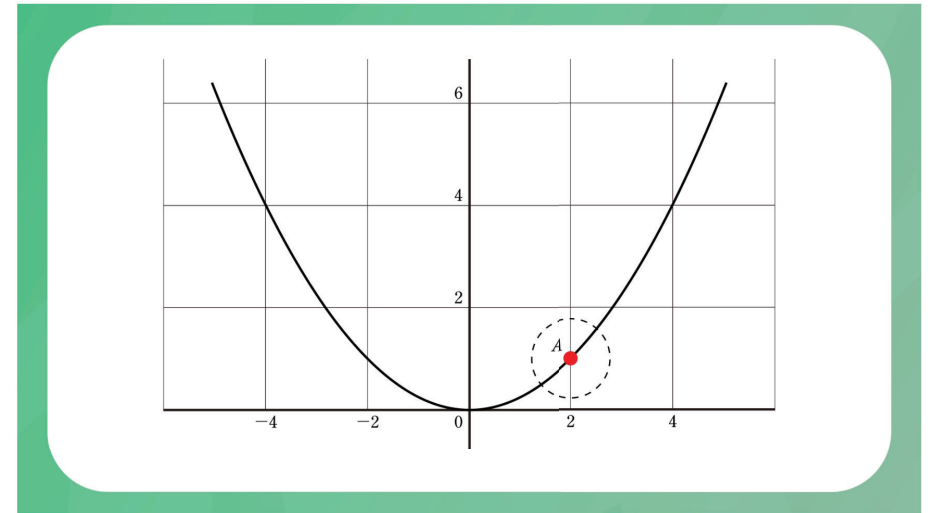
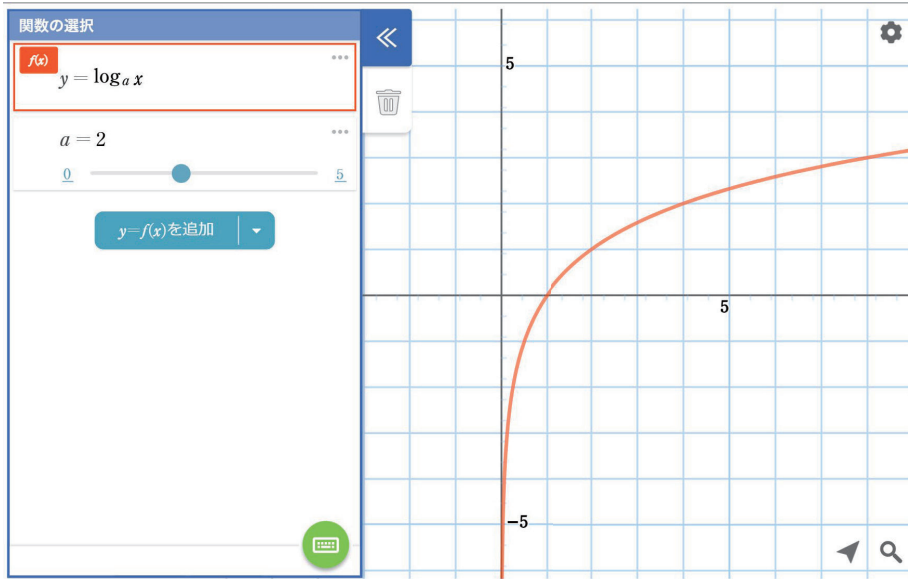
▶ 開始

🔄 最初に戻る

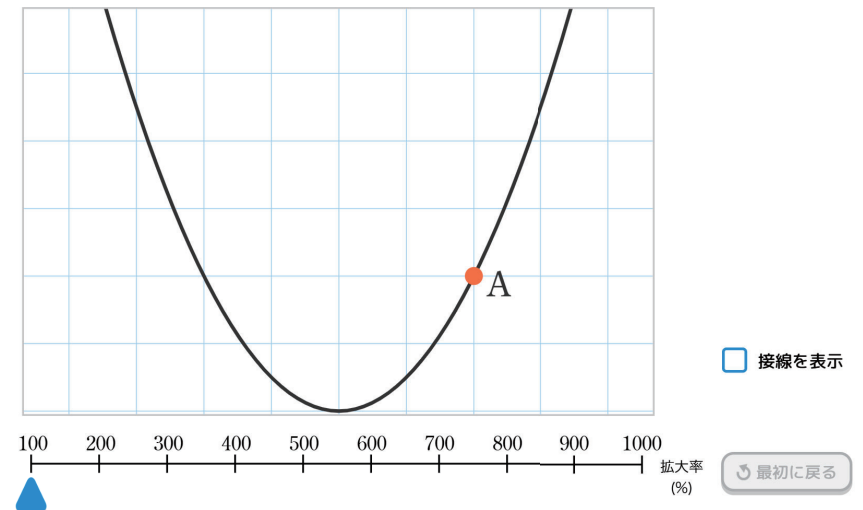
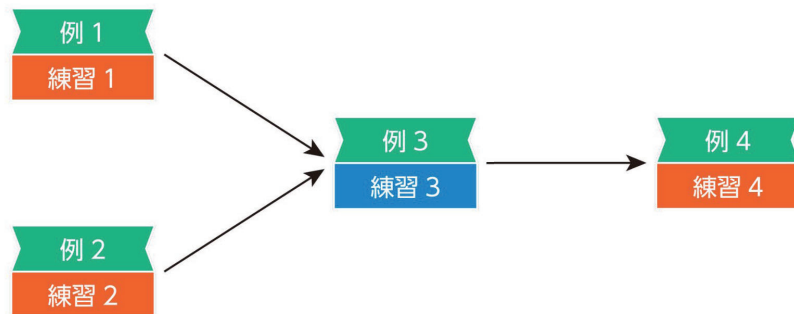


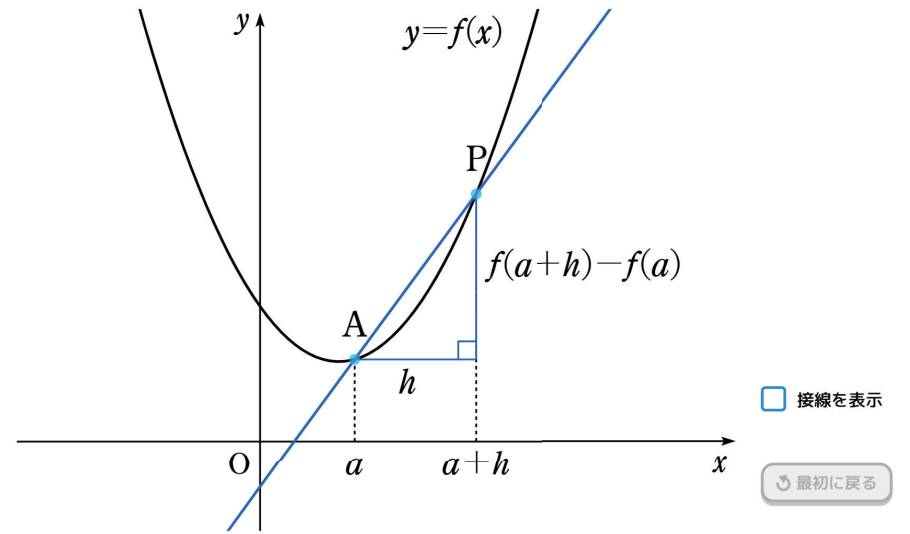
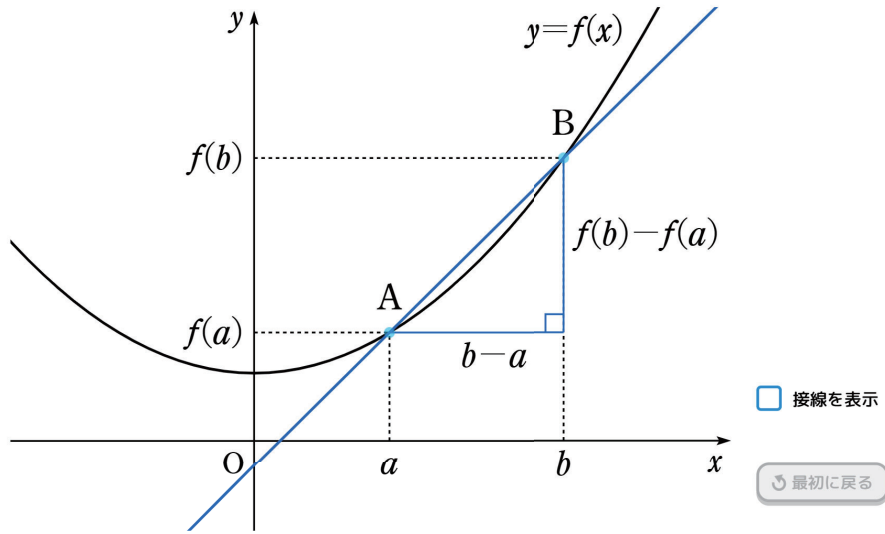
第5章 指数関数と対数関数 第2節 対数関数 3. 対数とその性質



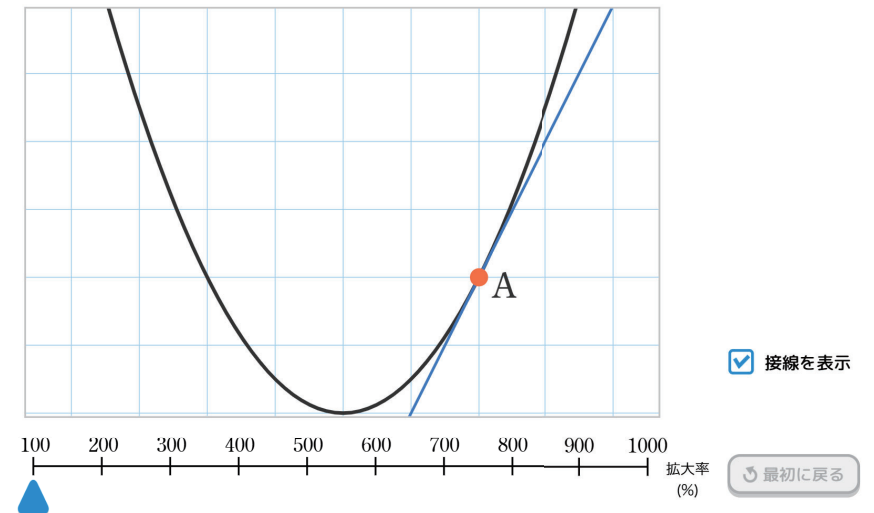
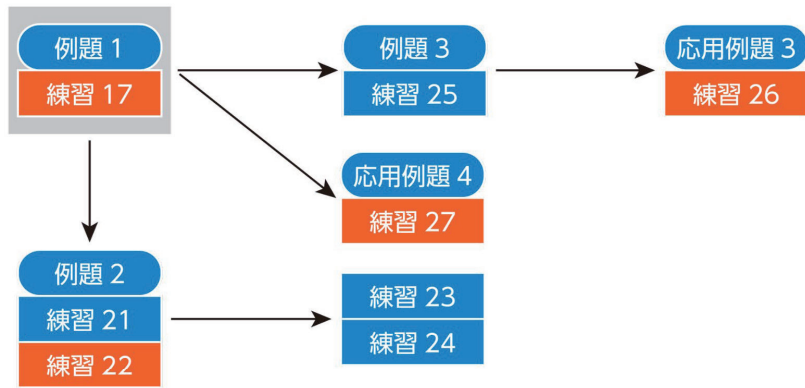


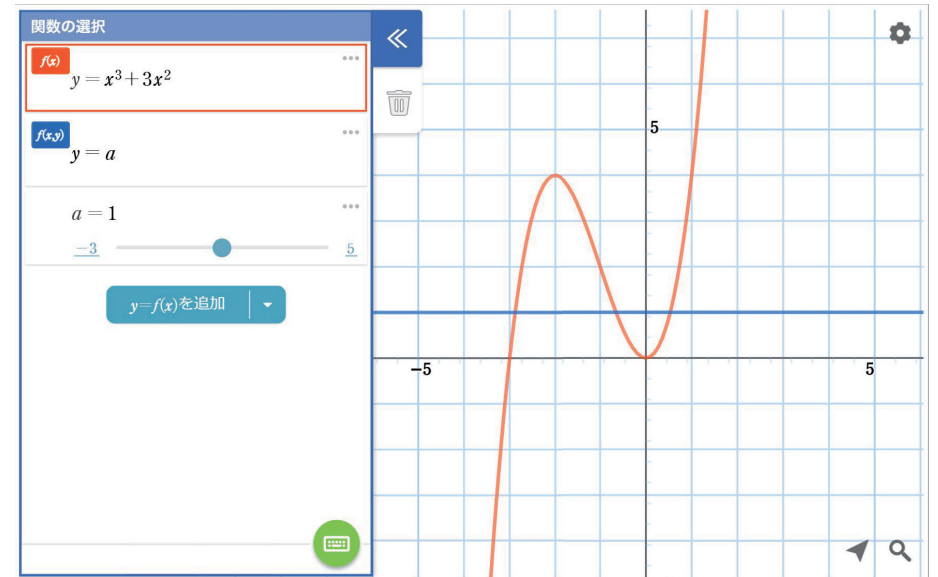
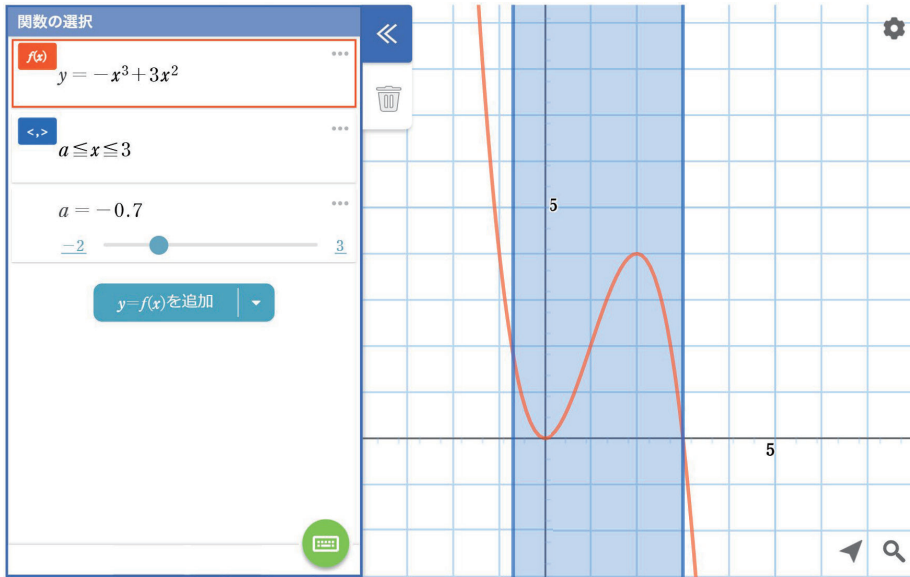
第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 1. 微分係数



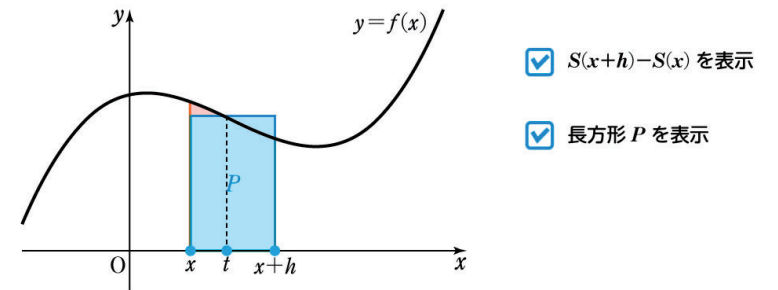
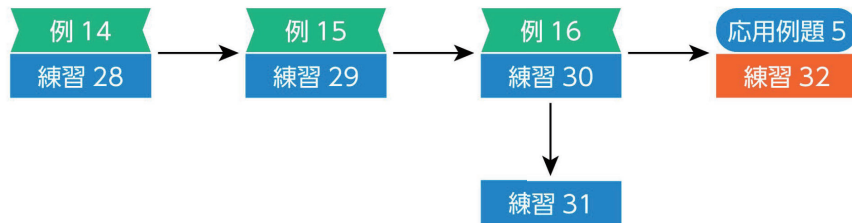


第6章 微分法と積分法 第2節 関数の値の変化 5. 関数の増減・グラフの応用

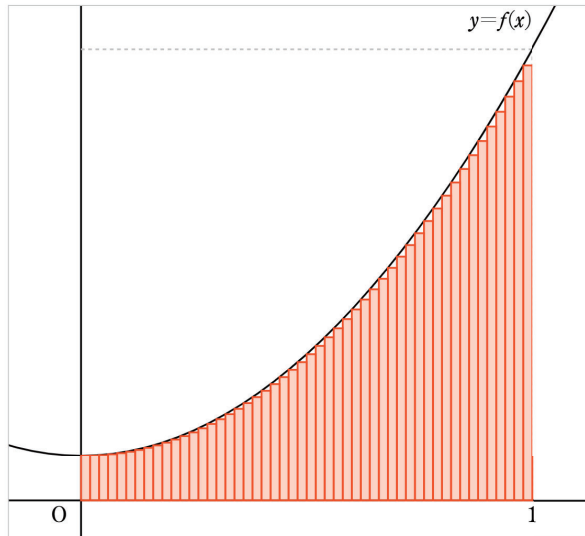




第6章 微分法と積分法 第3節 積分法 6. 不定積分



$S(x+h)-S(x) < \text{長方形 } P \text{ の面積 } hf(t)$



$n =$

面積Sを表示

最初に戻る

## 高校数学の学び方

これから高校数学を学んでいくことになりますが、数学を学ぶときに常に意識しておいてほしいことがいくつかあります。ここであげることを意識しながら学ぶことで、確かな数学の力を身に付けていってください。

### 定義を大切にす

数学は正しい論理の積み重ねです。そして、その出発点となるのが用語や記号の定義です。問題の解法を身に付けることも重要ですが、出発点である定義をおろそかにしていると、その解法すべてが揺らいでしまうことにもなりかねません。**定義を正しく理解する** ことは何よりもまず重要です。

5

## 本書に登場する数学の考え方

### 考え方 図をかく

- ・ 120 ページ
- ・ 122 ページ

### 考え方 文字でおく

- ・ 30 ページ
- ・ 64 ページ
- ・ 92 ページ
- ・ 105 ページ
- ・ 114 ページ
- ・ 222 ページ
- ・ 246 ページ

### 考え方 言いかえる

- ・ 27 ページ
- ・ 33 ページ
- ・ 35 ページ
- ・ 36 ページ
- ・ 60 ページ
- ・ 91 ページ
- ・ 119 ページ
- ・ 225 ページ
- ・ 229 ページ
- ・ 233 ページ

### 考え方 1つのものに着目

- ・ 18 ページ

